

平成28年度 事業報告書

公益財団法人 日本発明振興協会

当協会は昭和28年に「優秀発明振興協会」として創立、昭和34年11月11日「財団法人日本発明振興協会」として内閣総理大臣より設立の許可を受けた。昭和48年には現在地に日本発明振興会館を建設して当協会の目的である発明振興活動の拠点とし、旧科学技術庁をはじめとする諸官庁の指導のもとに科学技術の普及啓発と思想の高揚を図り産業の発展及び国民生活の向上に努めてきた。

平成22年4月には公益財団法人の移行申請を行い、同年11月19日に内閣総理大臣より移行認定書を受領し、同年12月1日に解散登記並びに設立登記を行うことによって新たに「公益財団法人日本発明振興協会」として再スタートした。

平成28年度においては、平成27年度に引き続き公益事業として4つの事業を柱に従来の発明振興及び普及の諸事業を継続実施した。

まず本部については、第42回「発明大賞表彰事業」において、平成28年7月～9月に募集を行った案件に対し、予備審査及び審査を経て受賞者の決定を行い、平成29年3月13日に表彰式を行った。第38回「こども発明教室」は平成28年5月から約8ヵ月間、土、日曜日を利用して実施し、平成29年2月5日には修了式を行った。

「発明普及事業」としては、第36回「発明研究奨励金交付事業」を平成28年5月から7月に交付申請を受け付け、平成28年11月16日に交付式を行った。科学技術週間に参加し、平成28年4月18日に優秀発明発表会を開催した。また、交流及び見学研修会、会社説明会、講演会など種々の情報発信や、相談員による発明無料相談を行った。さらに、サイエンスランプについては、新規にプレートテクトニクスランプを制作するとともに、これまで制作したランプの普及を図った。「会誌発行事業」としては、機関誌「発明と生活」の発行を継続して実施した。その他、叙勲、国家褒章、文部科学大臣表彰等、各種表彰制度への推薦、新春賀詞交歓会を実施した。これら事業を、都産技研、科学技術振興機構との連携協力協定のもとに実施した。

関西支部においては、発明大賞表彰事業などの本部事業について協力するとともに、発明普及事業として、第36回優秀発明賞を実施し、また発明にかかわる異業種交流会、研修会などを実施した。

一. 本 部 事 業

1. 発 明 大 賞 表 彰 事 業

日刊工業新聞社と共催の第 42 回発明大賞の表彰事業として、中堅・中小企業及び個人またはグループを対象に発明大賞、発明功労賞、考案功労賞、発明奨励賞、発明育成賞を設定し、募集を行い、各賞を授与し顕彰した。平成 29 年 3 月 13 日に明治記念館において表彰式を行った。

発 明 大 賞 (4 件)

(1) 発 明 大 賞 本 賞

「らせん状回転流を利用した揮発性物質の濃縮装置」

(株)バイオクロマト 代表取締役 木下 一真 殿
第一三共 RD ノバーレ(株) 研究推進部 大貫 貴史 殿

(2) 発 明 大 賞 東 京 都 知 事 賞

「果実表面と接触しない果物個別包装容器」

アイ・イート(株) 取締役 技術開発担当 柏 崙 勝 殿
取締役 技術開発担当 尾崎 功一 殿
研究員 技術開発担当 青山 リエ 殿

(3) 発 明 大 賞 日 本 発 明 振 興 協 会 会 長 賞

「胴部材の芯材と軸材を摩擦接合した圧延ロール製造方法」

(株)フジユー 常務取締役 技術開発センター長 永吉 英昭 殿
技術開発センター 商品・生産技術開発室 室長 園田 晃大 殿
若松響工場 商品技術課 次長格 吉永 宏 殿
山陽工場 生産技術室 課長 木村 健治 殿

(4) 発 明 大 賞 日 刊 工 業 新 聞 社 賞

「断面形状が波形の集水管」 (株)藤進 代表取締役 工藤 道男 殿

発 明 功 労 賞 (7 件)

(1) 「剥離状態にある石板と躯体を樹脂柱で一体化する工法」

FS テクニカル(株) 代表取締役 藤田 正吾 殿

(2) 「乳化・破砕用のカッターを搭載した加熱冷却攪拌機」

(株)カジワラ 代表取締役社長 梶原 秀浩 殿
執行役員常務 営業本部長 石井 紀一 殿
執行役員 技術部長 鈴木 勝利 殿
技術部 次長 笠原 徹 殿
設計部 副課長 七戸 弘平 殿

(3) 「大面積中実水幕を遠距離放水できる消火ノズル」

(株)ケーエスケー 代表取締役 楠 健治郎 殿
専務取締役 楠 伸治 殿

(4) 「可搬形接地電極」

- (株)昭電 技術開発部 部長 柳川 俊一 殿
 技術開発部 課長 森 文彦 殿
 技術開発部 課長代理 山崎 啓吾 殿
 技術開発部 主任 高橋 博樹 殿
- (5) 「酸素を含まない窒素置換雪で包み込む生鮮品冷蔵システム」
 (株)昭和冷凍プラント 代表取締役 若山 敏次 殿
- (6) 「歯車用研磨体」
 (株)ニートレックス 特機事業部 理事 塗矢 隆彦 殿
 技術開発室 理事 森岡 彰一 殿
- (7) 「空調機のドレンを真空で吸引する装置」
 ユーキャン(株) 代表取締役 安藤 磐 殿

考 案 功 勞 賞 (10 件)

- (1) 「ペンタイプ粉末容器」
 浅原 克好 殿
- (2) 「緊急情報ネットワーク表示システム」
 イー・ダブリュ・エス(株) 代表取締役社長 中村 里美 殿
 営業部 取締役 小谷 潤 殿
- (3) 「額縁レス表示装置」
 NKK スイッチズ(株) R&D 部 開発 3 課 浦 広樹 殿
- (4) 「変形サイクロイド曲線を用いたサイクロイド歯車」
 (株)サイベックコーポレーション
 バリュートクノロジー研究所 チーフ 白鳥 達也 殿
 バリュートクノロジー研究所 マネージャー 長田 直樹 殿
- (5) 「Au-Sn 合金めっき液」
 (株)ナウケミカル 代表取締役 金城 純一 殿
- (6) 「ニッケル系高硬度合金の拡散接合塗工ダイ」
 平井工業(株) 営業部 営業部長 平井 昌夫 殿
- (7) 「野菜皮むき器」
 松本 英夫 殿
- (8) 「永久磁石を用いたアルミ溶湯攪拌装置」
 (株)宮本工業所 常務執行役員 工業炉 統括部長 宮本 千佳司 殿
- (9) 「摩擦や張力の負荷をかけない曲げ試験機」
 ユアサシステム機器(株) 取締役執行役員 岡崎 恭久 殿
 RD 技術部 RD 技術 1 課 課長 佐々木 寿朗 殿
 RD 技術部 RD 技術 1 課 主任 安藤 直継 殿
- (10) 「カッターミル方式で樹脂片を微粉碎、分級する装置」
 (有)吉工 代表取締役 宇都宮 哲 殿

発 明 奨 励 賞 (3 件)

コンサート：長崎 麻里香（ピアノ）、村田 健司（バリトンレジェ・語り）
サイエンスランプ

新規にプレートテクトニクスランプを制作するとともに、これまで制作したDNAランプ、元素周期律ランプ、電気ランプを含め全国の科学館等での普及に努めた。また、「科学の甲子園」「日本生物学オリンピック」「化学グランプリ」「物理チャレンジ」の全国大会に参加賞として提供した。また、渋谷区教育委員会、京都市教育委員会との連携のもとに、渋谷区立の全小学校・中学校、京都市立の全中学校にサイエンスランプを贈呈している。又、平成28年12月10日には日本理科教育学会関東支部がサイエンスランプを評価して、学会が企画した理科ワークショップの中で埼玉県内の小、中学校の先生を対象に、サイエンスランプの実演紹介を行った。

4. 会誌発行等事業

機関誌『発明と生活』を6回発行した。「第4回発明と音楽の集い」（東京工業大学元学長・栄誉教授 末松安晴氏の講演）はじめ、特別対談、講演会、こども発明教室等、各種協会事業や会員の栄誉等について報告し、賛助会員及び関係方面に配布した。

5. 優秀発明功労者の推薦

(1) 国家褒章等への推薦（1件）

該当する候補者を文部科学省に推薦し、下記の方が受章した。

黄綬褒章（伝達式 平成28年5月17日）

山下 健治 殿 (株)ヤマシタワークス 代表取締役

(2) 文部科学大臣表彰への推薦（2件）

該当する候補者を文部科学省に推薦し、下記の方が受賞した。

科学技術賞技術部門 高城 雄三 殿 (株)CSS技術開発 取締役会長
技術部門 宮坂 四志男 殿 (株)不二機販 代表取締役

6. 発明振興表彰式及び新春賀詞交歓会

平成29年1月19日に発明振興表彰式及び新春賀詞交歓会を開催した。

7. 理事・評議員会など

(1) 平成28年度 第1回理事会（平成28年5月27日）

第1号議案 平成27年度事業報告書（案）について

第2号議案 平成27年度決算報告書（案）について

第3号議案 評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について

(2) 平成28年度 第1回評議員会（平成28年6月14日）

第1号議案 平成27年度事業報告書（案）について

第2号議案 平成27年度決算報告書（案）について

- (3) 平成 28 年度 第 2 回理事会 (平成 28 年 12 月 12 日)
 - 第 1 号議案 中間財務状況について
 - 第 2 号議案 マイナンバーに関する規定について
 - 第 3 号議案 発明振興表彰・特別表彰 表彰者について
- (4) 平成 28 年度 第 3 回理事会 (平成 29 年 3 月 2 日)
 - 第 1 号議案 平成 29 年度 事業計画書 (案)
 - 第 2 号議案 平成 29 年度 収支予算書 (案)
 - 第 3 号議案 評議員会の日時及び場所並びに目的である事業について
- (5) 平成 28 年度 臨時評議員会 (平成 29 年 3 月 7 日)
 - 第 1 号議案 平成 29 年度 事業計画書 (案) について
 - 第 2 号議案 平成 29 年度 収支予算書 (案) について

8. その他事業

中小企業活動について学生に紹介する会社説明会を大学と協力して実施した。

平成 28 年 7 月 6 日 東京理科大学

平成 28 年 10 月 13 日 千葉工業大学

二. 関西支部事業

1. 発明普及事業

(1) 発明交流会

偶数月の第 3 水曜日に淀川ヒューテック株式会社及びホテルメルパルク大阪にて発明にかかわる異業種交流会を開催した。

(2) 平成 28 年度交流及び見学研修会参加

平成 28 年月 10 月 19 日～20 日にダイキン工業株式会社のダイキンテクノロジーイノベーションセンターと株式会社エンジニア及び株式会社ダスキンのダスキンミュージアムの見学研修会を企画し交流を深めた。

(3) 平成 28 年度 発明振興表彰式・第 36 回優秀発明賞表彰式・新年交流会の開催

平成 29 年 1 月 25 日メルパルク大阪にて発明振興表彰式・第 36 回優秀発明賞表彰式・新年交流会を行った。第 36 回優秀発明賞事業では、平成 28 年 5 月から 7 月までの募集後、平成 28 年 10 月 17 日に審査委員による審査を行った。

下記件数の表彰を実施した。

表 彰	関西発明大賞	1 件
	大阪府知事賞	1 件
	日刊工業新聞社大阪支社長賞	1 件
	日本弁理士会近畿支部長賞	1 件
	優秀発明賞	2 件
	考案賞	3 件
	アイデア賞	3 件
	奨励賞	1 件